

A 匍匐することはない

B 枝は下垂したりねじれたりしない

C 細葉 葉や花は総て互生する

D 細葉 葉裏は普通淡緑で艶があり白味はない;側脈はやや裏凸する

葉は両面とも中肋付近有毛、それ以外は無毛〔シダレヤナギ節4〕

(SGOHY,近畿以西,川畔)(高木;葉345細)【04ヨシノヤナギ】(本種の は筆者同定品での検証である)

若葉は淡褐か銀白毛密生;毛は脱落性

葉表はほぼ無毛,中肋付近に密毛あり 葉裏はほぼ無毛,中肋は有毛

葉表濃緑,艶;裏は淡緑,艶あり(裏は白味がない緑色)

表に側脈浮出す感;側脈裏に微凸(ほぼ平坦);裏から細脈明らか,表から細脈不明

低波鋸歯

葉は被針形,40- 80mm,巾10-20mm;鈍円脚 表は白点全面散在感あり

葉柄は微毛密生 葉柄約5-6mm

托葉は斜卵形,約5mm;鋭尖頭

小枝先端に上向き灰毛密生

(H;葉裏の帯白色の程度は基本種と連なる。帯白部は主脈に沿って中央部に現れることもある)

変品種;【04ウラジロヨシノヤナギf; (SHY,近畿中部,川畔) 成葉40-100mm;裏粉白 葉柄2~5mm】

D 細葉 葉裏はやや白味がある

E葉は線形が標準;時に尾状鋭尖頭で鎌曲する;巾20mm以下;側脈は裏凸しない〔シダレヤナギ節5〕

(KT)(高木;葉5細)【タチシダレヤナギ】(本種の は筆者同定品での検証である)

新葉は両面毛密生,毛は早落性

葉表は毛散在 ほぼ無毛,中肋は微毛やや多 ほぼ無毛-下部に微毛少数

葉裏は毛散生 ほぼ無毛,中肋は直毛散生 ほぼ無毛;毛は次第に脱落する;裏中肋の直毛は中肋に平行する

葉表は緑,全面に白点密散在感あり;裏粉白

葉の中肋は両凸;表は側脈平坦,細脈透視(細脈は微細);裏側脈はほぼ平坦,やや不明

低鋸歯-低波鋸歯-ひら鋸歯;腺先長く鋭鋸歯に感じる

葉は線形,やや下膨れ,尾状鋭尖頭の葉あり,鎌曲する葉あり

葉柄は毛密生-上面微毛密生

托葉は鋭尖頭長卵形,ひら鋸歯;早落性

新枝は微短毛やや密生 微毛散在,芽に微短毛やや多数;毛は次第に脱落する

(枝垂れないシダレヤナギで野生型に先祖返りしたもの)

(Cシダレヤナギの項;全体としてエゾノカワヤナギに似るが,葉先端の細まり方,鋸歯の尖り方,葉柄の擦れ,葉の厚みなどに違いがある)(T;「シダレヤナギの原産地と考えられるところには野生の立性の個体群があり,日本でも先祖返りしたと考えられる立性の本種が稀に見られる」として「タチシダレヤナギと新称したい」としている)

変品種;【マガタマヤナギcv; (SKT,植栽)成葉は湾曲し勾玉状】